

読谷村 伊良皆自治会

集落
部門

伊良皆アシビで想いを繋ぐ ふるさとづくり (平成30年度認定)



伊良皆集落は、昔から様々な神事・行事が行われており、なかでも十五夜の邑アシビが特に盛んな地域である。伝統芸能の継承を通して地域活性化を図るため、自治会が中心となって地域活動を行っている。

戦後一度は途絶えかけた邑アシビを復活させるべく、昭和59年に伝統芸能保存会を発足し、区民一体となって民俗芸能の掘り起こしに力を入れてきた。また、新たな芸域を広げながら次世代へ継承していくことを目的に、青年会と協力して子供達への芸能指導や伝統芸能勉強会(史跡巡り・琉歌の歌牌巡り等)等を行っている。

旧暦の8月15日に行われる十五夜アシビでは大人から子供まで多くの地域住民が参加し、子供達の練習の成果を発表する等、伝統を次世代へ受け継ぐと共に、地域行事と連携することで地域の活性化に寄与している。

その他にも、自治会が主体となって農家向けの視察研修や料理教室を行う等、農家の所得向上に繋がるだけでなく、農家同士の交流の場を設けるための活動も行っている。また、共同活動にも力を入れており、地元農家による朝市ややまいもスープ、地域総出で行う清掃活動等、自治会が中心となって地域住民が協力し合いながら集落全体を盛り上げている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



子供達による史劇



農業勉強会



料理教室



地元農家による朝市



やまいもスूप



地域清掃活動